

【様式3】事業評価個票

事業名	移住定住・人材確保戦略的展開事業費		開始/終了(予定)年度	令和元 / 未設定			活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和一年度(最終目標)
部局・担当課名	みらい企画創造部 移住定住・地域活力創生課							活動指標及び活動実績(アウトプット)	①②③移住・交流ポータルサイト「やまがた暮らし情報館」トップページのアクセス件数	活動実績	件	246,204	251,552	—	—
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱1] 次代を担い地域を支える人材の育成・確保 [政策4] 国内外の様々な人材の呼び込み [施策1] 多様なライフスタイルの提案・発信 [施策2] 移住・定住の促進					活動指標及び活動実績(アウトプット)		①②③「くらすべ山形」の移住相談窓口への移住相談件数	活動実績	件	1,053	1,240	—	—
	目標指標	全年齢の社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数) △1,500人(令和6年度)						活動指標及び活動実績(アウトプット)	④「食の支援」における支援世帯数	活動実績	世帯	268	239	—	—
事業の目的	人口減少を抑制するため、「くらすべ山形」(一社)ふるさと山形移住・定住推進センターを中心に市町村と連携した移住希望者一人ひとりに寄り添った丁寧な相談対応や移住者への米・味噌・醤油の提供等、山形らしい「住・食・職」の一体的な支援などを展開することにより、一人でも多くの移住者の増加につなげる。						活動指標及び活動実績(アウトプット)			活動実績					
事業概要(令和4年度の実施内容)	(1) 移住希望者とのマッチングの強化 ・移住イベントへの本県ブースの出展 ・移住セミナーの開催 (2) 移住者目線の情報発信 ・インターネット等を活用した広告の展開 ・県移住交流ポータルサイト「やまがた暮らし情報館」による情報発信 ・移住総合支援ガイドブックによる情報発信 ・インフルエンサーを活用したYoutubeによる情報発信 (3) 移住相談・移住希望者を県内に繋ぐ機能の強化 ・首都圏における移住相談・情報発信等の拠点「やまがたハッピーライフ情報センター」の設置・運営費 (4) 山形らしい移住促進策の一体的展開 ・県外からの移住世帯に対して、本県の米・味噌・醤油を支給する「食の支援」の展開(県/市町村/JA・醤油味噌協同組合が1/3ずつ負担)							成果指標及び成果実績(アウトカム)	成果指標(所管部局の分析)		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実施方法	■ 直接実施 □ 委託・請負 □ 補助 □ 負担 □ 交付 □ 貸付 □ その他 () 上記実施方法とする理由: 民間のノウハウを活用できるものは委託するなど、事業内容に合わせた支出方法を選択した。							成果指標及び成果実績(アウトカム)	①②③④「くらすべ山形」の移住相談窓口を通じた県外からの移住者数	成果実績	人	264	268	—
当初予算額(単位:千円)	予算見積書グループ名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	成果指標及び成果実績(アウトカム)	目標値		人	200	215	235	260	—
	① 移住希望者とのマッチングの強化	13,039	8,543	3,638	3,638	3,152		達成度	%	132%	125%			—	
財源内訳(単位:千円)	② 移住者目線の情報発信	9,087	5,108	6,240	11,311	3,471	成果指標及び成果実績(アウトカム)	成果実績							
	③ 移住相談・移住希望者を県内に繋ぐ機能の強化	18,723	8,454	8,493	8,493	8,633		目標値							
財源内訳(単位:千円)	④ 山形らしい移住促進策の一体的展開	3,370	3,237	3,147	3,147	4,198	成果指標及び成果実績(アウトカム)	達成度	%						
	計	44,219	25,342	21,518	26,589	19,454		成果実績							
財源内訳(単位:千円)	国庫支出金	18,166	9,344	8,654	8,623	7,200	活動指標及び成果指標設定の考え方	目標値							
	県債							達成度	%						
財源内訳(単位:千円)	その他特定財源						活動指標及び成果指標設定の考え方	成果実績							
	一般財源	26,053	15,998	12,864	17,966	12,254		目標値							
財源内訳(単位:千円)	計	44,219	25,342	21,518	26,589	19,454	達成度	%							

事業所管部局による評価・検証(令和5年6月)

項目	評価(ABC)	評価に関する説明	課題
事業の必要性	A	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果指標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる移住相談件数の増加を図るためには、特に人口が多い首都圏の相談窓口の充実・強化が必要。また、首都圏に次いで人口の多い関西圏・中京圏における移住相談の掘り起こしも課題。 ・地域毎に市町村と連携して開催している移住セミナーについては、開始後5年以上経過しており、昨今の状況や市町村のニーズを踏まえた見直しが必要。 ・ポータルサイトの閲覧数は年々増加しているが、伸び率が鈍化していることから、更なるアクセス件数の増加に向けた工夫が必要。
事業の効率性	A	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	
事業の有効性(達成度)	A	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携しながら、移住希望者に特に関心の高い仕事に関する情報提供・相談対応を強化していく。また、大阪事務所・名古屋事務所と連携し、関西圏・中京圏においても積極的に情報発信していく。 ・テーマを絞った移住セミナーの開催など、市町村のニーズを踏まえたセミナー開催形態を検討していく。 ・更に効果の高い広告手法の検討やサイト内容の充実を図ることで、アクセス件数の増加につなげていく。
	A	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	
事業の有効性(達成度)	A	成果実績は成果指標に見合ったものとなっているか。	

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」
「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」

移住定住・人材確保戦略的展開事業費の主な実績(R4)について

I 移住希望者とのマッチングの強化		
①	移住イベントへの本県ブースの出展	【出展イベント】 ○東北移住&つながり大相談会（東京交通会館） ○ふるさと回帰フェア 2022（東京国際フォーラム） ○JOIN 移住・交流&地域おこしフェア（東京ビッグサイト）
②	移住セミナーの開催	○開催数：11回 ○参加人数：160組 174名
II 移住者目線の情報発信		
①	インターネット等を活用した広告展開 県移住交流ポータルサイトによる情報発信	○表示された広告をクリックした件数：93,458件 ○「やまがた暮らし情報館」トップページアクセス件数：251,552件
②	移住支援ガイドブックによる情報発信	○首都圏在住の若者や子育て世代をターゲットにした移住情報誌「Yamagata Gocochi（ヤマガタ・ゴコチ）」の作成（4,000部）
③	インフルエンサーを活用した Youtube による情報発信	○Youtube 動画による山形の魅力発信 R5.3月時点の総再生回数：15.4万回
III 移住相談・移住希望者を県内に繋ぐ機能の強化		
①	首都圏における移住相談・情報発信等の拠点「やまがたハッピーライフ情報センター」の設置・運営	○やまがたハッピーライフ情報センター（東京・有楽町）窓口における移住相談件数：479回
IV 山形らしい移住促進策の一体的展開		
①	県外からの移住世帯に対して、本県の米・味噌・醤油を支給する「食の支援」の展開	○実施市町村数：30市町村 ○提供件数：239世帯 398名